

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	観光施設緊急整備事業	会計	一般会計	事業No.	473	施策順No.	11-046	
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-11-4			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	21	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	観光施設(ハイランドしらびそ、かぐらの湯) 施設利用者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	緊急整備を行う観光施設(箇所)	施設利用者	19年度	20年度	21年度	22年度		23年度
	意図	観光客の利便性と快適性の向上を図る							
	対象をどう変えるか	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		クレーム数(ハイランドしらびそアンケートによる風呂売店関係)		7	4	2	2		目標達成度 B
		クレーム数(かぐらの湯)		3	1	0	0		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	ハイランドしらびそ、かぐらの湯、共に改修工事を行うことで、施設の機能性、効率性、安全性が向上し、利用者ニーズに対応できるようになった。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	観光客の利便性を高め、受入環境を向上させるため、しらびそ高原観光施設(ハイランドしらびそ)については、展望風呂の水漏れ解消と合わせ、厨房、客室、売店、日帰り入浴休憩所の改修を行う。また、かぐらの湯については、天井の腐敗が激しく落下の恐れがあることから、電気設備、機械設備と合わせて改修を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 観光施設の緊急整備改修工事箇所数(21→22繰越明許) 2 上村しらびそ高原観光施設 (1) 2階内装改修工事 (2) 3階風呂スペース解体及び内装工事 3 かぐらの湯浴室改修 (1) 天井梁改修 (2) サッシ取替え	1 整備箇所数 2(1) 施工面積 (2) 施工面積 3(1) 施工面積 (2) サッシ取替え	2施設 72.0㎡ 231.6㎡ 43.8㎡ 8ヶ所
23年度実施計画	次年度なし		

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	34,000	34,000	特定財源内訳、補足事項 (国)地域活性化・生活対策臨時交付金 (そ)繰越金 18,070千円 21→22繰越明許費 53,680千円
	一般財源	県支出金	19,680	18,070	
		計 (A)	53,680	52,070	0
		正規職員所要時間		200	
		臨時職員等所要時間			
		人件費計 (B)		715	
		トータルコスト A+B		52,785	

4 事業に対する市民や議会の意見

しらびそ高原観光施設については、施設の老朽化により、展望風呂から2階客室への漏水が深刻化しており、展望の良い2階客室が通年使用できない状況でとなっている。漏水対策の改修に合わせ、厨房の効率化、客室増、売店スペース増による収入増、日帰り入浴休憩所の新設によるサービス向上を行う。また、かぐらの湯については、施設の老朽化により浴室天井の腐敗が激しく落下の恐れがあることから、機械・電気設備と合わせて改修を行う。両施設とも地域の大切な観光施設であり改修の要望がある。

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が観光消費額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	改修工事により、機能性、効率性と安全性が向上し、利用客のニーズに対応したサービスの提供が可能になった。ハイランドしらびそ、かぐらの湯は、遠山郷の重要な観光施設であり、今まで以上の集客数と収益増を期待できる。		
	後期に向けた課題	次年度なし		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	老朽化した施設の改修に終わらないよう、観光客ニーズに応えたサービス提供ができて、施設の機能強化、収益性の向上にも繋がる内容の改修工事を行った。		
	後期に向けた課題	次年度なし		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	緊急性を要する施設の改修だが、工事期間を短期にし、観光シーズン秋前に工事を完了することにより、観光客への影響を少なくした。		
	後期に向けた課題	次年度なし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が所有する観光施設の基盤整備であり、市の関与が必要である。		
	後期に向けた課題	次年度なし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	なし		
	後期に向けた課題	次年度なし		
全体を通じて	4年間の振り返り	改修工事により、ハイランドしらびそは、施設の機能性、効率性を高め、日帰り入浴等利用者ニーズに対応できるようになり、結果として収益増に結びつくものである。また、かぐらの湯の工事は、安全性が向上したことで、管理上の不安が払拭され、清潔感も増したことで、観光客が安心・安全に利用できる施設になった。		
	後期に向けた課題	次年度なし		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	対象や意図を修正する必要はありますか	成果指標や指標値を修正する必要はありますか
----------------------	--------------------	-----------------------

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--